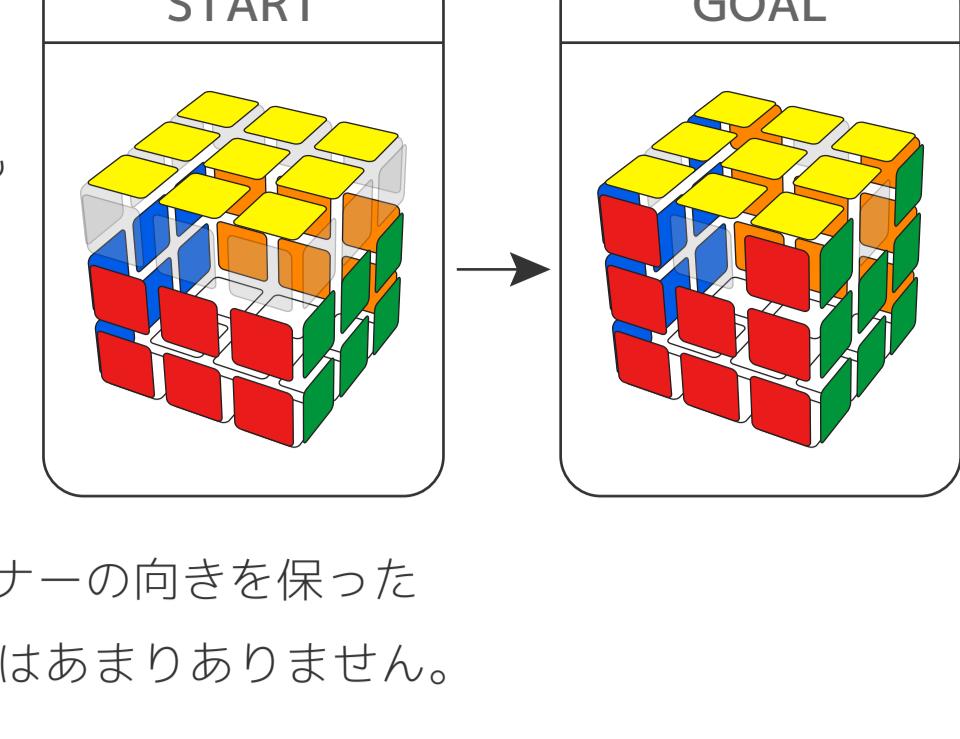


Step6 - コーナー PLL

最後の 2 ステップは **PLL** です。これも、2 段階に分けることでとてもカンタンになります。ちなみに PLL とは、Permutation of the Last Layer の略で、パーミュテーションは並び替えというような意味で使われています。

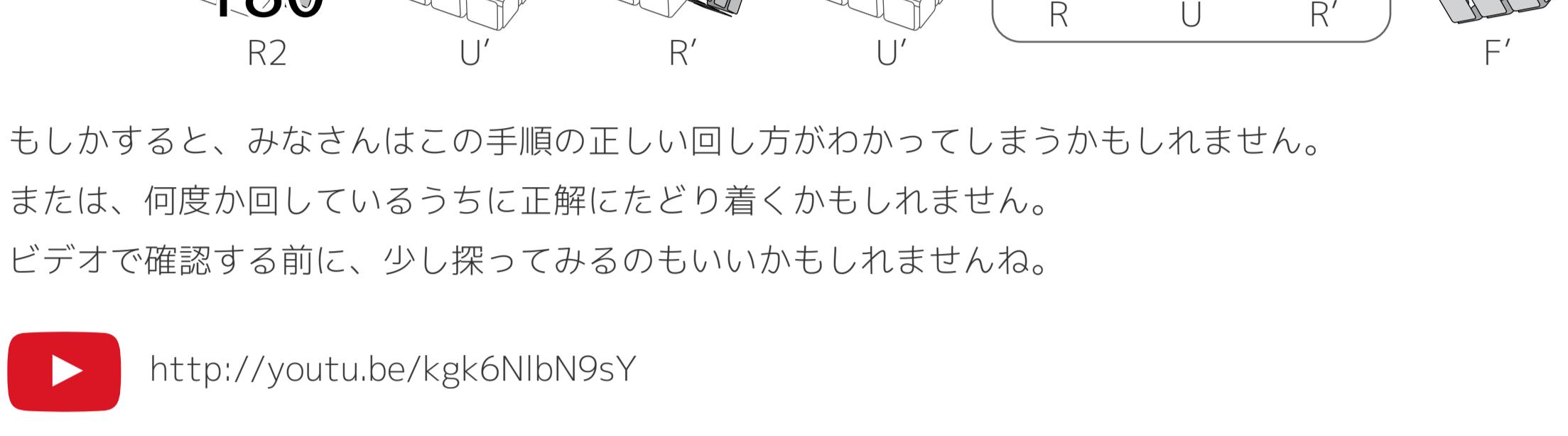


このステップでは、**コーナーの並び替え**をします。3 段目にあるコーナーの向きを保ったまま、その位置を操作するわけです。手順が長いですが、考えることはあまりありません。

14 手の手順を使います。ひとまずキューブを完成させることに集中して、手順は後で覚えるのがいいでしょう。

手順の紹介

OLL の手順には番号が付いていましたね。PLL の手順にも番号があり、さらに名前もあります。ここで紹介する手順は **T パーム**。由来が気になりますが、それについては別の機会にお話しましょう。



もしかすると、みなさんはこの手順の正しい回し方がわかつてしまうかもしれません。

または、何度か回しているうちに正解にたどり着くかもしれません。

ビデオで確認する前に、少し探ってみるのもいいかもしれませんね。

<http://youtu.be/kgk6NlbN9sY>

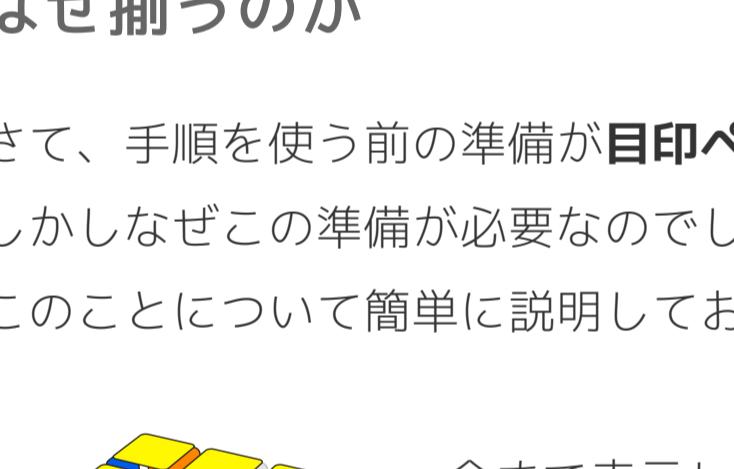
非常に回しやすいことで有名な手順です。

ただ、回しやすいためか、うろ覚えのうちはミスが起こりやすいでしょう。

キューブがぐちゃぐちゃになんて大丈夫です。復習しながら、このステップまで戻ってきましょう。

準備：目印ペアを左面に

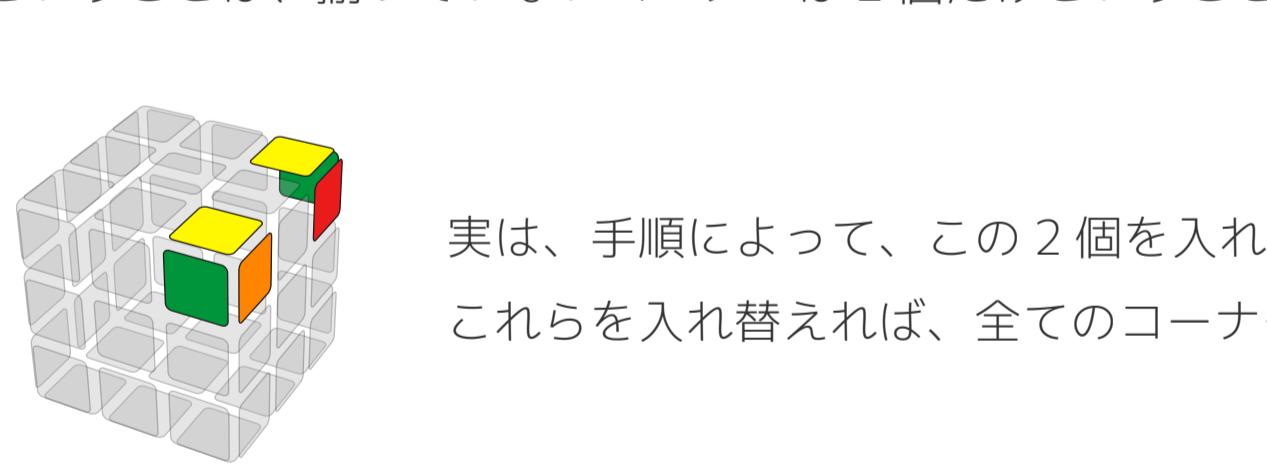
このステップに入って真っ先に行うのは、**目印ペア**を探す作業です。



ひとつの面に同じ色のコーナーがふたつある、
というものを**目印ペア**と呼ぶことにします。
右側の例のように、間にあるエッジが揃っていても構いません。

目印ペアを見つけたら、それを同色の面に持っていくります。例の場合は青色ですね。

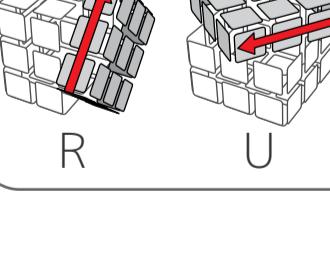
さらに、キューブを持ち替えて、目印ペアが左面にくるようにします。これで準備完了です。



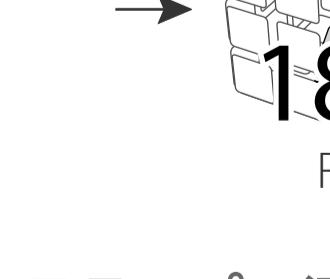
なぜ揃うのか

さて、手順を使う前の準備が**目印ペアが左面にくるようにキューブを持つこと**であることはわかりました。

しかしなぜこの準備が必要なのでしょうか。また、その後手順を回すとなぜコーナー PLL が完了するのでしょうか。このことについて簡単に説明しておきましょう。



今まで表示していませんでしたが、目印ペアが青色だった場合、
3 段目のパートはこのようになります。
よく見てみると、キューブ全体で 8 個あるコーナーのうち、
6 個が既に揃っていることがわかりますね。



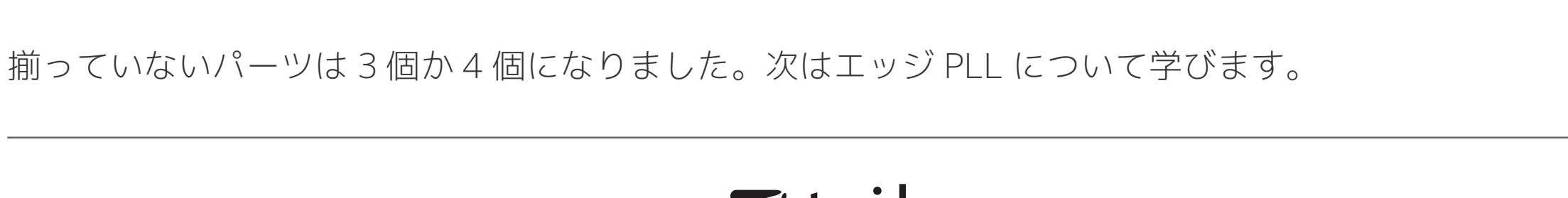
実は、手順によって、この 2 個を入れ替えることができるのです。
これらを入れ替れば、全てのコーナーが揃うことになりますね。

実践

実践の時間ですが、新しく説明することはありません。

既に紹介した手順と、ステップの流れをおさらいすることにしましょう。

・手順



・ステップの流れ

手順

揃っていないパートは 3 個か 4 個になりました。次はエッジ PLL について学びます。

tribox